



愛知工業大学 愛知工業大学情報電子専門学校 愛知工業大学名電高等学校 愛知工業大学附属中学校

目次	
愛工大の新体制	2
キャンパス紹介	3
組織変更と人事	4-8
新入生支援等	9
設置校入学式	10
設置校卒業式	11
愛名会総会等	12
発行所 名古屋電気学園 〒470-0392 豊田市八草町八千草1247 TEL (0565) 48-8177	

学園創立百周年まであと二年と迫る

理事長、年度始め式で歴史の重みと発展を強調

名古屋電気学園は四月一日、平成二十二年度のスタートにあたり愛知工業大学八草キャンパス（豊田市八草町八千草）の本部棟等で、年度始め式、新規採用者らへの辞令交付式等を実施、併せて同日付で組織変更と人事異動も行いました。また、各設置校のトップを切つて愛工大入学式が講堂兼体育館・鉀徳館で行われました。また、大学の新年度体制も決まりました。



後藤淳理事長

年度始め式は10号館二階大講義室で行われ、後藤淳理事長と後藤泰之学長が挨拶の後、後藤淳理事長は「あと二年で創立百

周年を迎える学園のさらなる発展のため、力を併せて頑張りましょう」と述べ、後藤泰之学長は「名古屋市内に開設した本学の『名古屋自由ヶ丘キャンパス』への市民の期待は大きい。また、本学の志願者がここにきて急増しており、背景に地元志向もあります。取り組んできた入試改革が功を奏してきたと言えます。教職員の皆さんには、本学の主人公である学生を勇気づけ、元気づけてほしい」と、呼びかけました。引き続き、学長、三学部長、基礎教育センター長、



挨拶する後藤泰之学長

大学事務局長による新規採用者、任命・昇格者の紹介があり、紹介された教職員が一人ひとり自己紹介を行いました。また、各分野で大学の発展に寄与した森豪エクステンションセンター長（総合教育教室教授）、尾形素臣工学部建築学科教授、鈴木康入試センター次長の三氏に、学長から平成二十一年度「学長賞」が贈

られました。

（組織変更・人事は四一八頁に掲載）

名古屋・自由ヶ丘に愛工大キャンパス開設



学園が名古屋千種区自由ヶ丘に建設した愛工大名古屋自由ヶ丘キャンパスが完成、四月一日に開設しました。名古屋市内での学部キャンパス開設は初めて。経営

攻、ビジネスマネジメント専攻が入り、学生総数は六百七十五人です。近くの本山キャンパス（大学院経営情報科学研究科）、愛工大名電高校及び愛工大附属中学校との連携、新たな情報発信拠点としての役割が期待されています。また、地域住民には市民講座（予定）やラウンジ等の開放を通して“地域に開かれたキャンパス”を目指します。

【写真は、愛工大名古屋自由ヶ丘キャンパス】

後藤淳理事長の年度始め式挨拶要旨



名古屋市に経営学部の自由ヶ丘キャンパスが開設され、今秋には、八草キャンパスに新1号館（仮称）が完成と、教育環境の整備が進んでいます。自由ヶ丘キャンパスは、周辺住民の関心も高い等、新しいものが生まれつつあります。大学は志願者、

入学者が前年を上回り（入試制度改革等の）成果が出てきており、（新キャンパス開設等で）今後、女子学生も増やしていきたい。

学園は2年後の2012年、平成24年に名古屋電気学校を開校してから、100年という節目の年を迎えます。その歴史を振り返ると、大正、昭和、平成と一貫して電気を中心に技術者を養成して、社会へ送り出してきました。卒業生は各企業等に進出し活躍、学園の評価を高めています。学園のさらなる発展のため、力を合わせ頑張りましょう。

大学の「平成22年度新体制」決まる

総長	後藤 淳・総長
学長	後藤 泰之・学長
副学長	稲垣 慎二・工学部教授
副学長	小嶋 憲三・工学部教授
工学部長	江口 一彦・工学部教授
経営学部長・経営情報科学部長	近藤 高司・経営学部教授
情報科学部長	阿部 圭一・情報科学部教授
基礎教育センター長	柳井 裕道・基礎教育センター教授
工学研究科長	小嶋 憲三・工学部教授
経営情報科学研究科長	野村健太郎・経営学部教授
学生支援本部長	稲垣 慎二・工学部教授
教学センター長	山田 英介・工学部教授
教学センター副センター長	中村 栄治・情報科学部教授
キャリアセンター長	村瀬 洋・工学部教授
エクステンションセンター長	森 豪・基礎教育センター教授
学習支援センター長	安藤 光史・基礎教育センター教授
入試センター長	建部 謙治・工学部教授
図書館長	井 研治・工学部教授
計算センター長	飯吉 僚・工学部教授
研究支援本部長	酒井 忠雄・工学部教授
総合技術研究所長	架谷 昌信・工学部教授
総合技術研究所副所長	澤木 宣彦・工学部教授
耐震実験センター長	青木 徹彦・工学部教授
地域防災研究センター長	正木 和明・工学部教授
エコ電力研究センター長	一柳 勝宏・工学部教授
高大連携推進室長	鈴木 達夫・経営学部教授
本山キャンパス長	近藤 高司・経営学部教授
国際交流室長	櫛田玄一郎・工学部教授
戦略的大学連携室長	曾我部博之・工学部教授



大学運営を担う新しいスタッフが、左、下の表のように決まりました。(敬称略)

総研副所長に澤木工学部教授が就任

昨年節目となる開学五十周年を祝った大学は、本年度から次の百

年に向けて新しい一歩を踏み出しました。それに合わせ名古屋市の自由ヶ丘キャンパスを開設したほか、今秋、八草キャンパスに新1号館(仮称)建設と、環境整備を進めています。

そのスタッフとして、本年度から新しく総合技術研究所副所長に澤木宣彦工学部教授(写真上)、教学センター副センター長に中村栄治・情報科学部教授(同)が就任しました。

総長補佐	総長補佐	大根 義男・工学部特任教授
	総長補佐	架谷 昌信・工学部教授
	総長補佐	野村健太郎・経営学部教授
	総長補佐	澤木 宣彦・工学部教授

学長補佐	学長補佐	酒井 忠雄・工学部教授
	学長補佐	坪井 常世・工学部教授
	学長補佐	櫛田玄一郎・工学部教授
	学長補佐	鈴木 達夫・経営学部教授
	学長補佐	曾我部博之・工学部教授

森豪教授ら3氏に平成21年度「学長賞」



平成21年度「学長賞」の森豪エクステンションセンター長(総合教育教室教授)、尾形素臣工学部建築学科教授、鈴木康入試センター次長の業績等は、以下の通りです。

▽森教授=ものづくり教育の振興 開学50周年記念事業として製作した映画「築城せよ!」のアソシエイトプロデューサーとして製作に尽力。学生を多数、製作に携わせ、「ものづくり」を実践する機会を与えることで、さらに「ものづくり」への興味を喚起しました。また、映画や公開講座等で本学の「ものづくり」教育を全国に広めるなど多大な貢献をしました。

▽尾形教授=ものづくり教育の振興 映画「築城せよ!」に関連し映画で造られた段ボール城を、学生に再現させることを通じて設計・製図教育の実践の場になりました。また、段ボール城の模型を作成させ、各種イベントで展示し、「ものづくり」の面白さを体感させるなど、「ものづくり」教育で多大な貢献をしました。

▽鈴木入試センター次長=大学体制の整備 平成10年から将来計画推進室、大学企画推進室の事務責任者として少子化、大学全入時代を的確に調査し、2度の学部、学科再編の学内調整を手がけ、文部科学省への申請業務を統括。また、入試センター次長として、多様化する入試制度対応の事務責任者として学内の調整を行い、志願者を増やし、入学者を確保してきました。以上のように体制づくりから入学者の確保まで本学並びに学園の安定に多大な貢献をしました。

【写真は、前列右端から森教授、後藤泰之学長、尾形教授、鈴木入試センター次長】

総務部
新キャンパス
拝見

所在地 〒464-0044
名古屋市千種区自由ヶ丘2-49-2
TEL 052-757-0810 (代表)



①地下鉄名城線の自由ヶ丘駅で下車、外へ出ると間もなく新キャンパスが目飛び込んできます。②キャンパスに着くと、「愛知工業大学自由ヶ丘キャンパス」のネームもまぶしい正面玄関が出迎えてくれます。



1階には、学生や市民のための各施設も充実。③メニューも豊富なランチルーム ④図書だけでなく、DVDも楽しめるマルチメディア情報センター ⑤学生、市民の歓

談、くつろぎの場になっているラウンジ ⑥学生の姿が絶えない就職相談室。



2階以上は学生、教員の勉学、研究フロアで講義室のほか、ゼミ室、PC演習室、各教員の研究室等と充実しています。息抜きに3階屋上に庭園も造られていて、静かなひとときを過ごせます。⑦2階フロアにつながる1



階フロアからの階段 ⑧最新の教育機材も備った学生らの学びの場の講義室 ⑨爽やかな風が吹き抜ける屋上庭園。



新キャンパス周辺地図 →

学園は、講座や一部施設の住民開放等を通して、地域に開かれたキャンパスにも力を入れています。



写真右は、テープカットする後藤淳理事長(右から3人目)、後藤泰之学長(同4人目)。同上は、演奏をする名電高吹奏楽部部員

す」、後藤泰之学長が「本山キャンパス等と連携して、愛工大の新しい情報発信の拠点として発展していくことを期待しています」と挨拶しました。その後、理事長、学長らがテープカットし開設を祝いました。午後から、地域住民を対象にした見学会を行いました。キャンパスには待ちかねた大勢の住民が詰めかけ、ランチルームでお茶を飲んだり、ラウンジでオープニングセレモニーの式典に参加した愛工大名電高吹奏楽部の演奏を楽しむ等、新キャンパスを満喫していました。



オープニングセレモニー

学園は名古屋自由ヶ丘キャンパスの開設に先立ち三月三十一日、一階ラウンジでオープニングセレモニーを行い、新キャンパス完成、開設を祝いました。後藤淳理事長が「地域の人たちと一緒に、発展していくことを望みます」と挨拶しました。

◇人事関係

【新規委嘱】＝3月2日

(大学)

工学部電気学科嘱託技術職員

前田 正輝

【産前産後休暇取得】＝3月25日～7月14日 (予定)

(学園事務局)

財務部会計課事務主任

安達加奈代

平成22年4月1日付の組織変更と人事異動

◇人事関係

◆組織変更 (4月1日)

<趣旨>

学園の事務組織を見直し、特に大学においては事務組織図と教育研究機構図を明確にし、業務は事務分掌規程に基づくこととする。

<事務組織の変更>

- ▼学園事務局の「学園企画推進室」を総務部に置く。
- ▼学園事務局の「システム管理部」に「情報教育支援課」を設け、大学計算センターの業務を担当する。大学計算センターの事務部は廃止する。
- ▼大学の事務組織として規定されている部課等を「大学事務局」と総称する。
- ▼「大学経営学部事務室」を「経営学系事務センター」とし、その下に「八草キャンパス事務室」、「本山キャンパス事務室」、「自由ヶ丘キャンパス事務室」を置く。「経営学系事務センター」の各事務室は大学院経営情報科学研究科の事務も担当する。また、「本山キャンパス事務室」及び「自由ヶ丘キャンパス事務室」は経営学部経営学科、大学院経営情報科学研究科の事務の他、教学に関する業務、キャンパス内で実施される行事等、キャンパス内で発生する全ての業務に対応する。
- ▼「大学経営情報科学部事務室」は廃止し、経営情報科学部に関する事務は、「情報科学系事務室(改称、前情報科学部事務室)」と「八草キャンパス事務室」、「自由ヶ丘キャンパス事務室」が担当する。
- ▼「入試本部」は廃止する。

下記の部署は、事務組織図から外し、業務は事務分掌により以下の部署が担当する。

- ▼「戦略的大学連携室」の業務は学務課が担当する。
- ▼「研究費不正防止推進室」の業務は会計課が担当する。
- ▼「高大連携推進室」の業務は、名電関係は秘書室、その他は入試センターが担当する。
- ▼「学生支援本部」の業務は教学センターが担当する。
- ▼「学習支援センター」の業務は基礎教育センター事務室が担当する。
- ▼「国際交流室」の業務は教務課が担当する。
- ▼「みらい工房」の業務はエクステンションセンターが担当する。
- ▼「研究支援本部」の業務は研究支援事務室が担当する。
- ▼「附属図書館」の業務は図書課が担当する。
- ▼「工学部事務室」を「工学系事務室」と改称し、大学院工学研究科に関する事務も担当する。
- ▼「学生相談室」の業務は、学生課が担当する。大学生以外(教職員等)は人事課が担当する。

◆人事異動 (4月1日付、退職及び兼務解除は3月31日付)

(カッコ内は前職、「・」は兼務、組織名称の変更者、及び敬称は省略)

<任命> (継続・再任を除く)

(大学)

研究支援本部総合技術研究所副所長

工学部電気学科教授 澤木 宣彦

教学センター副センター長

情報科学部情報科学科教授 中村 栄治

(高校)

中学校長

高校校長 佐藤 忍

中学教頭

高校教頭 後藤 芳樹

教頭(教諭)

平田 俊之

(中学)

教頭 (高校教諭)

中根 文彦

【新規採用】

(大学)

経営学部経営学科教授

石井 成美

情報科学部情報科学科教授

中條 直也

基礎教育センター教授

森 昌弘

基礎教育センター教授

長谷川省一

工学部機械学科准教授

江上 泰広

経営学部経営学科准教授

竹中 嘉久

基礎教育センター准教授

北村 陽子

工学部都市環境学科講師

山本 義幸

工学部建築学科講師

瀬古 繁喜

基礎教育センター講師

坂本 將暢

情報科学部情報科学科助教

松河 剛司

基礎教育センター助教

一刀 祐一

(高校)

教諭

今枝 仁

教諭

内田 勝美

教諭

狩野 博

教諭・中学教諭

川口 昌裕

教諭

佐々木大實

教諭

寺町 泰明

養護教諭

松岡 豊子

教諭・中学教諭 (常勤講師)

小林 知広

教諭 (常勤講師)

田端 毅

(中学)

教諭・高校教諭 (常勤講師)

柳沢 保貴

(学園事務局)

財務部財務課事務職員

柳瀬 浩史

(大学事務局)

入試センター参事

西尾恭一郎

教学センター学生課事務職員

倉野 智加

【新規委嘱】

(大学院)

工学研究科連携客員教授

吉田 友幸

(大学)

工学部機械学科客員教授

土井 稔

工学部都市環境学科客員教授

稲垣 隆司

経営学部経営学科客員教授 (特任教授)

竹内 弘之

情報科学部情報科学科客員教授 (教授)

石井 直宏

基礎教育センター客員教授

堤 幸彦

工学部都市環境学科嘱託職員

伊庭 恒夫

(高校)

常勤講師

北川 祐介

常勤講師 (若水事務局嘱託職員)

真田 浩二

常勤講師

清水 隆博

常勤講師

柴田 章宏

常勤講師

富田 耕平

(学園事務局)

総務部人事課・大学事務局教学センター学生課嘱託職員 (カウンセラー)	幡垣 加恵
(大学事務局)	
エクステンションセンター嘱託職員	堀江信一郎
【出向受入】	
(大学事務局)	
キャリアセンター次長・大学院経営情報科学研究科客員教授	栗津 敬雄
【昇格】 (所属変更及び兼務、兼務解除を含む)	
(大学)	
工学部応用化学科教授 (准教授)	大澤 善美
基礎教育センター教授 (准教授)	ローレンス・ケリー
工学部電気学科准教授 (講師)	岩田 博之
情報科学部情報科学科准教授 (講師)	北坂 孝幸
情報科学部情報科学科准教授 (講師)	水野 慎士
(学園事務局)	
管理部長 (管理部次長・総務部人事課長)	矢野 敬典
システム管理部次長・システム管理課長 (システム管理課長)	山本 久雄
システム管理部次長・情報教育支援課長 (大学計算センター事務室課長)	近藤 修司
総務部総務課主査・学園企画推進室主査 (大学教学センター教務課係長)	石川 裕之
総務部学務課事務主任 (同事務職員・大学戦略的大学連携室事務職員)	三輪 瑞樹
総務部人事課事務主任 (管理部管財課事務職員)	前田 賢
(大学事務局)	
入試センター入試課主査 (係長)	横井 浩治
キャリアセンター主査 (係長)	奥田 好弘
教学センター教務課係長 (同事務主任・学園事務局学園企画推進室事務主任)	山田 真吾
入試センター渉外課係長 (事務主任)	西 裕之
キャリアセンター係長 (事務主任)	中嶋 研索
教学センター学生課事務主任 (事務職員)	中島智恵子
教学センター教務課事務主任・経営学系事務センター本山キャンパス事務室事務主任 (本山キャンパス事務室事務職員・国際交流室事務職員)	鈴木 達宜
(若水事務部)	
事務主任 (事務職員)	高木美也子
事務主任・学園事務局システム管理部システム管理課事務主任 (事務職員)	中島 猛
【所属変更】	
(職名変更及び兼務、兼務解除を含む。事務組織変更・組織名称変更による事務職員の異動、中学 高校間の教員の異動は省略)	
(学園事務局)	
管理部管財課係長 (大学教学センター学生課係長)	川口 亨
総務部広報課事務主任 (大学入試センター入試課事務主任)	中條 伸子
総務部助成課事務職員・学務課事務職員 (大学入試センター渉外課事務職員)	浅井 保貴
管理部管財課事務職員 (管理部調達課事務職員)	栗山 里夏
(大学事務局)	
事務局次長・大学入試センター次長・学園事務局総務部学園企画推進室長 (学園事務局学園 企画推進室長・入試センター次長・入試課長)	鈴木 康
経営学系事務センター自由ヶ丘キャンパス事務室事務長兼本山キャンパス事務室事務長 (本 山キャンパス事務室事務長兼経営学部事務室事務長)	宇田 秀樹
情報科学系事務室事務長 (経営情報科学部事務室事務長・情報科学部事務室事務長)	佐藤 友泰
経営学系事務センター八草キャンパス事務室主査 (経営学部事務室主査・経営情報科学部事 務室主査)	小島 雅子
教学センター教務課主査 (国際交流室主査)	高井 一彦
図書課主査 (学生支援本部主査)	河野ひとみ

教学センター教務課係長（事務局総務部助成課係長兼学務課係長）	加藤 聡
入試センター渉外課係長（事務局総務部広報課係長）	上田 英貴
経営学系事務センター自由ヶ丘キャンパス事務室係長（学園事務局総務部総務課係長）	中野 正博
経営学系事務センター自由ヶ丘キャンパス事務室事務職員（教学センター教務課事務職員）	安藤亜希子
入試センター入試課事務職員（附属図書館図書課事務職員）	小川真智子
情報科学系事務室事務職員（経営情報科学部事務室事務職員・情報科学部事務室事務職員）	高田 奈美
経営学系事務センター自由ヶ丘キャンパス事務室嘱託職員（基礎教育センター事務室嘱託職員）	室崎 園子
（若水事務部）	
事務部主査（大学附属図書館図書課主査）	有田 哲治

【職名変更】

(高校)

主幹（教頭）

杉浦 由直

(中学)

主幹（教頭）

竹内 博美

【兼務】

(学園事務局)

事務局次長・総務部長・人事課長（学園事務局次長・総務部長）

後藤 尚之

総務部学務課長・助成課長・学園企画推進室課長（学務課長・助成課長・大学戦略的
大学連携室課長）

井沢 清人

総務部学務課事務職員・学園企画推進室事務職員（学務課事務職員・大学戦略的
大学連携室事務職員）

竹中 雅哉

(大学事務局)

学生支援本部事務長・事務局経営学系事務センター事務長・八草キャンパス事務室事務長（
学生支援本部事務長）

松沢 勝義

入試センター次長・入試課長（入試センター参事）

市川 繁富

【兼務解除】

(組織の統合等により廃止された部署の兼務解除、任期付職務、本務と兼務の入替えによる兼務解除は省略)

(大学事務局)

大学研究支援本部課長の兼務を解く

大学研究支援事務室事務長 原田 建

【退職】

(大学)

電気学科 日比野倫夫教授▽機械学科 大島貴充教授、堀康郎教授▽経営学科 瀨瀬康兵教授
▽情報科学科 石井直宏教授▽基礎教育センター 岡田静雄教授、児嶋文寿教授

(高校)

石原民雄教諭、実藤龍一教諭、菅井善章教諭、葉山尊士教諭、大島寛教諭、道木峰男教諭、
後藤邦子養護教諭、平林義信教諭、柏本輝男運転手

(中学)

横地徹校長

(学園事務局)

高田宣章事務局参与、松原暁美管理部長、西飯徳康
総務課参事**【委嘱終了】**

(大学院)

経営情報科学研究科 野々村裕連携客員教授▽ポストドクトラル研究員 阿部亮吾、ラマジ
ョデ・ジャヤラマン、ラタナイマルンワン・ヌアンラオ

(大学)

電気学科 澤五郎客員教授、吉田恭信客員教授、中川茂夫嘱託技術職員▽機械学科 保原充客員教授、中原崇文客員教授、足立弘嘱託技術職員▽経営学科 高仲顕客員教授▽基礎教育センター 戸田暢茂客員教授

(中学)

平岩大作常勤講師

(学園事務局)

兼子勝顧問、西井松生顧問、石川貴之総務部付

(大学事務局)

教務課 大栗尉子嘱託職員▽入試センター 吉田光善参与

平成21年度退職者辞令交付式

3月30日、本部棟2階会議室で開かれ、後藤淳理事長が、「長い間、ご苦労様でした」と長年にわたる学園への功績を称え、退職者一人ひとりに辞令と記念品を手渡しました。退職者を代表し謝辞を述べた大島貴充教授は「これからは若い先生の活躍を期待しています」と、後輩にエールを送りました。

【写真は、後藤淳理事長（前列右から4人目）後藤泰之学長（同左端）と記念写真に収まる退職者ら】



月(七月)、後期「表現文
期「ものづくり文化」(四
科、全学生を対象にした前
堤氏が担当するのは全学
客員教授に就任しました。
一日付で基礎教育センター
話を持ち上がり、本年四月
つかけて、「客員教授」の
ストとして招かれたのがき
事業式典にゲ
学50周年記念
名古屋市で行
昨年十一月、
い分野で活躍
の監督と幅広
レビドラマ、
るように数多
監督で知られ
能力者バトルロイヤル」の
場版「PC(トリック) 霊
堤氏は最新作の映画「劇
月二十七日、本学の八草キ
ヤンパスで初講義を行いま
した。



愛工大の客員教授に就任した堤幸彦監督の写真が五月

堤監督が愛工大客員教授に就任

り)ゼミ(仮称)を学生
と取り組みたいと、提案。
その呼びかけに応えた二十
人を超す学生と同ゼミを今
秋、森豪総合教育教室教授
と共同で開いていく予定で
す。講義のあった10号館一
階の大講義室は学生で埋ま
り、熱気に包まれました。



詰めかけた学生に熱く語りかける堤監督

化」(九月〜平成二十三年
二月)です。この日の初講
義では、自分の生い立ちか
ら現在までの軌跡をユーモ
アを交え講義しました。そ
の中で、名古屋で過ごした
中学、高校時代は音楽にの
めり込み、東京の大学に進
学後、目にした専門学校案
内の広告からテレビ会社へ
入り、下積み等を体験した
後、映画、
テレビドラ
マの監督と
して数々の
作品を手が
けるまでに
なると語り
ました。
その後、
地域再生を
目的に「地
域振興(地
域・町づく
り)ゼミ」を学生
と取り組みたいと、提案。
その呼びかけに
応えた二十人
を超す学生と
同ゼミを今秋
、森豪総合教
育教室教授と
共同で開いて
いく予定です
。講義のあつ
た10号館一階
の大講義室は
学生で埋まり
、熱気に包ま
れました。



本学ブース
では渉外課
職員らが高
校生や保護
者らの説明
に追われて
いました。

入試説明会等が本番

《2011中部の私立大
学展》本学など中部地方の
私立大、短大八十二校が参
加し五月二十九、三十の両
日、名古屋市の県産業労働
センターで開かれました。

六月一日は本学八草キャン
パス、同二日は名古屋市内
のホテルで写真⑤で愛知
県等の高校を対象に開
催。両会場で合わせて
百十三校の進路指導、
三年担当教諭らが出席
しました。後藤泰之学
長の挨拶の後、建部謙
治入試センター長(建
築学科教授)らが平成
二十三年入試概況等
を説明しました。



《愛工大
主催入試説
明会》五月
二十八日の
四日市会場
を皮切りに
各地で行わ
れました。

大矢奨学金の授与

学園は、本年度大矢奨学金を愛工大工学部電気学科一年の折戸優作君、愛工大名電高校普通科一年の別府卓君に贈ることを決め、授与しました。同奨学金は、学園監事を務めた故大矢覚明氏の遺志で設けられました。愛工大附属中学校から名電高、名電高から愛工大へ進学したそれぞれ成績優秀者に贈られます。

大学で

折戸君への授与式は四月一日、大学入学式後に八草キャンパスの本部棟内で行われました。後藤淳理事長が、奨学金の趣旨を説明した後、折戸君に贈りました。



折戸君④に大矢奨学金を授与す
後藤淳理事長

新入生を支援—大矢奨学金など贈る

高校で

また、別府君には四月六日、高校入学式後、校長室で、後藤淳理事長が授与。理事長は別府君の成績内容に目を通し、「これからも大いに頑張ってください」と激励し、手渡しました。



別府君⑤に奨学金の趣旨を説明する後藤淳理事長

新入生選抜奨学生

愛工大は、教育の振興と学風の高揚を図ることを目的とする「平成二十二年新入生選抜奨学生」に経営学部経営学科スポーツマネジメント専攻一年の濱島敬佑君、経営学科経営情報システム専攻一年の藤井健介君の二人を採用しま

した。

同制度の対象者は、一般入試前期日程合格者のうち成績優秀な学生（各専攻の募集人員の上位5%）を、奨学生として採用しています。

採用通知交付式は四月一日、八草キャンパスの本部棟内で行われました。後藤泰之学長が「入学した時の気持ち、志を忘れずに四年間、頑張ってください。また、目的や興味のあることには、果敢に挑戦してほしい」と激励し、濱島、藤井両君にそれぞれ奨学生採用通知書を交付しました。



採用通知交付式の後、記念写真に収まる濱島敬佑君、後藤泰之学長、藤井健介君（右から）

名電高谷口寮新築工事に着工
新キャンパス開設記念シンポ

谷口寮新築



学園は五月二十一日、名古屋千種区谷口町で新しく建てる体育館を併設した高校卓球部谷口寮Ⅱ写真⑤完成。Ⅱの

安全祈願祭を行いました。場所は高校のテニスコート跡地で、完成予定は十一月下旬。

谷口寮は鉄筋三階建て、延べ床面積六百八十三平方メートル、二―三人部屋合わせて十三部屋のほか食堂、寮監室からなります。体育館は鉄骨平屋建て五百十六平方メートルです。安全祈願祭では、後藤淳理事長、後藤泰之学

初めの儀でカマを手に
草を刈る後藤淳理事長



長、佐藤忍校長、建設関係者らが出席して営まれました。理事長が盛り土の草をカマで刈る“初めの儀”等を行い、工事の安全を祈願しました。

大学院シンポ開催



愛工大大学院経営情報科学研究科は五月十五日、名古屋自由ヶ丘キャンパス（名古屋千種区）

で、経営情報科学研究科開設六周年を記念し、客員教授による基調講演等の「大学院公開シンポジウム」Ⅱ写真⑥を開催しました。後藤淳理事長・総長、後藤泰之学長の挨拶に続き、客員教授の長谷川武彦ヤマハ発動機（株）顧問・元会長と加藤典孝・ソニー美濃加茂（株）元社長の二人が基調講演。この後、本学の野村健太郎研究科長らが講演しました。

新入学生、祝福に包まれ学園の仲間入り

愛工大

学園設置校の愛知工業大学、愛工大名電高校、愛工大附属中学校、愛工大情報電子専門学校で三月から四月にかけて、次々に卒業式、入学式が晴れやかに行われ、生徒、学生一人ひとりの新しいスタートを祝福しました。

四月一日、八草キャンパスⅡ豊田市八草町Ⅱ内にある講堂兼体育館の鉦徳館で、本学管弦楽団の「祝典行進曲」演奏が始まりました。後藤泰之学長が式辞で「新入生の皆さん、興味を持って打ち込める“何か”を早く見つけてください。皆さんが物事に積極的に取り組む姿勢が何より大切です。本



新入生を代表し宣誓する富田和雄君

学の主人公は、皆さん一人ひとりです」と、新入生を激励、後藤淳理事長・総長が「学園は、名古屋に大学の新キャンパスを開設等、教育環境の整備に努めています。皆さんが、それらを活用し勉学、研究、クラブ活動に励み、悔いのない学生生活を過ごされるように願っています」と挨拶しました。

新入生を代表して工学部機械学科の富田和雄君が、「勉学に精励し、本学の学生たることを誇りとし、学生としての本分を全うすることを誓います」と宣誓しました。

本年度の入学生は、学部及び大学院、編入学合わせて前年度を上回る千六百七十八人でした。式後、キャンパス内では各クラブ、サークルの部員がユニフォーム姿や看板を手に、新入生にチラシを手渡すなど勧誘を繰り広げ、にぎやかな歓声に包まれていました。

愛工大名電高

四月六日、保護者の見守る中を新入生五百七十人が高校Ⅱ名古屋千種区Ⅱ



宣誓文を読み上げる中島雅斗君

の講堂兼体育館・喬徳館に入場。佐藤忍校長が入学許可宣言をした後、「新入生の皆さんには、①より高い目標を持ち、その実現に向け日々努力する人間②良き社会人としてのモラルとマナーを身につけた人間③心身ともに健全で、たくましく生きぬく力をもった人間」の三点を意識し、日々の努力を望みます」と式辞を述べ、続いて後藤淳理事長が、「これからの三年間、学園の柱とする“ものづくりに基づく知識、技術を学び、スポーツや文化活動をおおいに楽しんでください」と挨拶しました。

新入生を代表し、普通科の中島雅斗君が「校則を守り、勉学にクラブ活動に精いっぱい努力します」と宣誓しました。



新入生を代表し宣誓する岩本飛龍君

愛工大附属中

四月八日、名電高の講堂兼体育館・喬徳館で開かれました。新入生百九人を前に佐藤忍校長が「皆さんが仲間と楽しく学校生活を送り、学習や運動に励み、心と体をバランスよく鍛えて、一段と成長することを期待しています」と式辞を述べ、後藤淳理事長が「中学時代は成長が一番早い時であり、皆さんはものをどんどん吸収して将来、何になるか進むべき道を考えてください」と話しました。

三年生の山田真子さんが「皆さんが充実した中学生活を送ることを、願っています」と歓迎の言葉を述べたのに対し、新入生を代表して岩本飛龍君が「校訓の誠実、勤勉の教えに従い、勉学に努め、部活動に励みます」と宣誓しました。

愛工大情報電子専門学校

四月八日、同校Ⅱ豊田市陣中町Ⅱの講義室で行われました。

国歌斉唱に続き、白岩義夫校長、後藤淳理事長が新入生を歓迎する式辞、挨拶を述べ、鈴木公平豊田市長祝辞(代読)の後、高度情報処理学科の坂幸穂さんが、五学科合わせ七十五人の新入生を代表し「本校の建学の精神をわきまえ、学則を守り、勉学に励みます」と誓いの言葉を述べました。



誓いの言葉を述べる坂幸穂さん

希望を胸に卒業生、新しい旅立ち

愛工大

三月二十三日、八草キャンパスの講堂兼体育館・鉦徳館で行われ、千二百三人が巣立っていきましました。卒業生は、工学部八百九十一人、経営情報科学部二百十三人、大学院修了者は博士前期課程九十一人、博士後期課程を修了して論文審査に合格、博士となった八人です。



卒業生を代表して謝辞を述べる水野慧一君



後輩から胴上げで祝福される卒業生

一人ひとりに博士の学位記を、博士前期課程の代表に学位記、学部の代表に卒業証書・学位記をそれぞれ授与しました。その後、卒業生に「皆さんは新しい時代の主人公になれる、と確信しています。今後は持てる力を十分に発揮し、それぞれの分野で活躍されることを心から願っています」と祝辞を、後藤淳理事長・総長が「本学で学んだ“ものづくり”に培われた技術、知識を活かし、夢の実現に向かつて大いに頑張ってください」と挨拶しました。最後に卒業生を代表して応用化学科の水野慧一君が、「大学で学んだ専門知識、仲間と共に培った人間性、創造性を活かし、それぞれの分野で努力、活躍したいと思います」と謝辞を述べました。

式場入り口では、晴れ着姿の卒業生が友人や保護者らと記念写真を撮り合ったり、各クラブ・サークル等の後輩が、先輩に花束を贈り、胴上げする光景が見られ、キャンパス内は卒業生を祝福するお祝いムードいっぱいでした。

愛工大名電高



卒業生を代表し答辞を述べる本野汐里さん

三月一日、高校の講堂兼体育館・喬徳館で行われました。この日、晴れの日を迎えた卒業生は、科学技術科、情報科学科、普通科合わせて五百五十四人。式典では、佐藤忍校長が科学技術科から順に各科代表に卒業証書を授与した後、「人生は勉強である、誠実に生きる、報恩と感謝の気持ちの三つを、心がけてください」とはなむけの言葉をおくり、後藤淳理事長が「これからの道のりは厳しく、様々な試練が待ちかまえていますが、高校で培った知識、体力を発揮し、それぞれの夢をつかみ取ってください」と挨拶しました。学

校表彰等につき、普通科二年の仲野晋太郎君が送る言葉を、それを受けて卒業生を代表し本野汐里さん（情報科学科）が「名電には、“ものづくり”の精神があります。在校生の皆さんはこの精神を引き継ぎ、悔いのないように全力で突っ走ってください」と答辞を述べました。

愛工大附属中



思い出等をお話し答辞を述べる平木友浩君

三月十八日、名電高講堂兼体育館の喬徳館で卒業生百十五人のほか在校生、保

護者らが出席して行われました。横地徹校長の祝辞、後藤淳理事長の挨拶などの後、卒業生を代表して平木友浩君が「この三年間の日々を胸に焼き付け、これから明るく力強く学んでいくことを誓います」と、答辞を述べました。

愛工大情報電子 専門学校



白岩義夫校長を前に卒業生を代表して謝辞を述べる原慶次君

三月十七日、同校講義室で行われ、白岩義夫校長が五十四人の卒業生へ卒業証書を授与。白岩校長祝辞、後藤淳理事長の挨拶などに続いて、情報工学科の原慶次君が「本校の卒業生という自覚と誇りを持ち、ここで学んだ知識、技能・技術を大いに発揮し、成長を続けたい」と謝辞を述べました。

愛名会
だより

学園の後援組織・学校法人名古屋電気学園愛名会は5月14日、名古屋市中区栄の名古屋東急ホテルで平成22年度総会・講演会を開きました。総会では、神尾隆会長、名誉会長の後藤淳理事長の挨拶に続き、松原暁美・愛名会事務局長が総会に先だって開かれた理事会で承認された平成22年度事業計画、予算及び役員の内任、選任等を報告しました。



盛会だった平成22年度愛名会総会

役員の内任、選任では、顧問の川口将一・愛知電機(株)名誉相談役、副会長の吉田和夫・清水建設(株)専務執行役員前名古屋支店長、常任理事の兼子勝・前学園顧問、西井松生・前学園顧問の4

氏が転任等で内任し、新たに副会長に寺田修・清水建設(株)専務執行役員名古屋支店長、常任理事に山田功・愛知電機(株)取締役社長の2氏が選任されました。

講演会では、毎日新聞社の岸井成格特別編集委員が「鳩山政権と政局の行方」と題して講演。岸井氏は慶応大学卒業後、毎日新聞社に入り政治部、ワシントン特派員、政治部長を経て1999年から現職。今回は政治部記者等の豊富な経験を踏まえ、現在の鳩山政権の発足から現在までの政局の流れ、政界の動き、間近に迫った参議院選挙予測等を分かりやすく解説しました。出席者は、新聞、テレビの報道だけでは分からない政権、政界の裏側の生々しい話に耳を傾けていました。

この後、学園設置校の愛工大等の就職担当教員らと交えた懇談会が開かれ、教員と各企業の会員らが名刺を交換、歓談し交流を深めました。



講演する岸井成格氏

愛工大名電高同窓会は五月二十八日、名古屋市中区のホテルで平成二十一年度総会を開催し、会長に加藤訓氏を選任しました。総会には理事ら約四十人が出席。平成二十一年度事業報告、予算及び平成二十二年事業計画案、予算案を原案通り承認。また、任期(二年)満了に伴う役員改選で、会長の加藤氏ほか新役員を選出しました。再選された加藤会長は、「少子化など私学経営は厳しい状況にあり、同窓会はその役割をしっかりと担って、さらなる母校の発展を図っていきたい」と抱負を述べました。また、名誉会長の後藤淳理事長と四月から愛工大附属中学校長兼任となった佐藤忍校長が挨拶しました。



同窓会総会で挨拶する名誉会長の後藤淳理事長。右端は佐藤校長

愛工大名電高同窓会総会開催

述べました。また、名誉会長の後藤淳理事長と四月から愛工大附属中学校長兼任となった佐藤忍校長が挨拶しました。

新役員は、次の皆さんです。(◎は新、敬称略)

- 【名誉会長】後藤淳
- 【名誉理事】野牧一雄
- 【会長】加藤訓
- 【副会長】渡辺静夫、池尾勇夫、山下将、北野芳憲、奥村衛、◎葛谷捷臣
- 【理事】古田和義、本田義輝、松浦兵征、堀江充、羽佐田修二、高田宣章、長尾楯夫、今津孝、丹羽宗彦、◎森田千明、更谷光夫、樋田嘉成、道木峰男、山下健次、本多正二、◎平田俊之、近藤春彦、安島将門、三宅寛、松本和彦、磯貝喜与二、◎宇田秀樹、永井広明、梅村憲正、杉浦克敏、東伸二、石崎敏也、◎松永成美、◎増田朗、川端誠一郎、森島茂樹、松澤和史、◎橋本明正、岡本芳樹、矢野好徳、柏太輔、中山智明、前田賢、近藤孝芳
- 【監事(兼)】◎長尾楯夫、更谷光夫
- 【事務局長(兼)】◎平田俊之
- 【事務局】竹松宏
- 【会計(兼)】三宅寛、前田賢

編集後記

学園に今、新しい風が吹いています▼まず、名古屋千種区内に愛工大経営学部の新たな拠点、「名古屋自由ヶ丘キャンパス」が誕生▼続いて、この秋には八草キャンパスに、新1号館(仮称)が出来上がります▼その大学の志願者、入学者数は、今年も前年を上回り、学園やキャンパスも活気に包まれています。まさに新たな風が吹き始めました▼そして、あと二年後には学園創立百周年という記念すべき年を迎えます。記念行事等の準備も粛々と進められており、今から楽しみます▼この間の大学、高校卒業生の数は、数え切れないぐらいです。そして卒業生の多くが、「ものづくの第一線で活躍しています」▼企業や官公庁を仕事で訪ねた時、「私も学園のOBの一人です」という人によく出会います。頼もしい限りです▼日本では今、「ものづくり」が危機に立たされています▼その中で一貫して社会へ「ものづくり」の人材を送り続け、日本の産業を支えてきた学園の存在は大きい。(久)